

# 2020年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](非連結)

2019年11月6日

上場会社名 第一建設工業株式会社

上場取引所

TEL 025-241-8111

東

コード番号 1799 URL <a href="https://www.daiichi-kensetsu.co.jp/">https://www.daiichi-kensetsu.co.jp/</a>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 内田 海基夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部長

(氏名) 小出 昭広

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利	益	経常和	益	四半期紅	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,645	9.9	1,429	39.7	1,523	39.0	1,029	39.4
2019年3月期第2四半期	22,924	3.2	2,372	1.4	2,497	1.4	1,700	0.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	50.23	
2019年3月期第2四半期	82.72	

#### (2) 財政状態

X /							
	総資産	純資産	自己資本比率				
	百万円	百万円	%				
2020年3月期第2四半期	69,688	60,026	86.1				
2019年3月期	69,085	59,784	86.5				

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 60,026百万円 2019年3月期 59,784百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
2019年3月期		0.00		34.00	34.00			
2020年3月期		0.00						
2020年3月期(予想)				34.00	34.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

#### 3. 2020年 3月期の業績予想(2019年 4月 1日~2020年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上荷	高	営業和	引益	経常和	川益	当期純	利益	1株当たり当期     純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	47,500	4.7	3,700	27.0	3,900	26.9	2,650	27.0	129.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.6「2.四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	20,858,491 株	2019年3月期	20,858,491 株
2020年3月期2Q	388,915 株	2019年3月期	328,815 株
2020年3月期2Q	20,496,120 株	2019年3月期2Q	20,552,643 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# 第一建設工業㈱(1799) 2020年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1)四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4)四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(重要な後発事象)	6
3. 補足情報	6
(1)受注高、売上高及び繰越工事高	6

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の受注高は、民間工事の受注獲得が順調に推移したこと等により、前第2四半期累計期間 比23億4千9百万円 (8.9%増) 増加の287億7千1百万円となりました。

建設事業売上高は、前第2四半期累計期間比22億7千8百万円(10.1%減)減収の202億6千9百万円となりました。これは、前事業年度からの繰越工事の進捗に伴う施工高の減少を主な要因としたものであります。

また、不動産事業売上高は、前第2四半期累計期間比0.2百万円 (0.1%増) 増収の3億7千6百万円となりました。これは、賃貸用不動産の売上高の増加によるものであります。

この結果、売上高合計は、前第2四半期累計期間比22億7千8百万円(9.9%減)減収の206億4千5百万円となりました。

利益につきましては、建設事業総利益が、前第2四半期累計期間比7億5千8百万円(20.8%減)減益の28億9 千万円となりました。これは、売上高の減少や完成工事総利益率の低下によるものであります。

また、不動産事業総利益は、前第2四半期累計期間比1千7百万円(10.6%減)減益の1億4千8百万円となりました。これは、賃貸用不動産の解体費用の発生を主な要因としたものであります。

この結果、売上総利益合計は、前第2四半期累計期間比7億7千5百万円(20.3%減)減益の30億3千9百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、前第2四半期累計期間比1億6千6百万円(11.6%増)増加の16億1千万円となりました。これは、人件費や事務用品費の増加を主な要因としたものであります。

これにより、営業利益は、前第2四半期累計期間比9億4千2百万円(39.7%減)減益の14億2千9百万円、経常利益は、前第2四半期累計期間比9億7千4百万円(39.0%減)減益の15億2千3百万円、四半期純利益は、前第2四半期累計期間比6億7千万円(39.4%減)減益の10億2千9百万円となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末比6億3百万円(0.9%増)増加の696億8千8百万円となりました。これは、工事代金の回収に伴い受取手形・完成工事未収入金等が減少したものの、現金預金や有価証券、材料貯蔵品等が増加したことを主な要因としたものであります。

負債合計は、前事業年度末比3億6千1百万円(3.9%増)増加の96億6千2百万円となりました。これは、 材料貯蔵品の購入に伴い支払手形・工事未払金等が増加したことを主な要因としたものであります。

純資産合計は、前事業年度末比2億4千2百万円(0.4%増)増加の600億2千6百万円となりました。これは、利益剰余金の増加を主な要因としたものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、47億8千9百万円の収入超過(前第2四半期累計期間88億9千9百万円の収入超過)となりました。これは、工事代金の回収に伴う売上債権の減少等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億7千2百万円の支出超過(前第2四半期累計期間4億4千1百万円の支出超過)となりました。これは、有形固定資産の取得等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億9千5百万円の支出超過(前第2四半期累計期間7億1千8百万円の支出超過)となりました。これは、配当金の支払い等によるものであります。

これにより、現金及び現金同等物は、37億2千1百万円増加し、現金及び現金同等物の四半期末残高は、280億6千1百万円(前第2四半期末残高286億3千8百万円)となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

# 2. 四半期財務諸表及び主な注記

# (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	(単位: 十円) 当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)	
資産の部	(2019年3月31日)	(2019年 9 万 30 日 )	
流動資産			
現金預金	12 020 709	16 061 224	
受取手形・完成工事未収入金等	13, 939, 798 19, 244, 492	16, 961, 224 15, 002, 896	
有価証券	19, 244, 492	11, 550, 533	
販売用不動産	45, 121		
未成工事支出金	241, 733	45, 121 463, 204	
材料貯蔵品	275, 749	837, 181	
が 作り 厳ロ その他	1, 086, 656		
		2, 003, 417	
貸倒引当金	△2, 030	△1,600	
流動資産合計	45, 632, 163	46, 861, 979	
固定資産			
有形固定資産	12, 402, 560	12, 042, 847	
無形固定資産	73, 833	72, 751	
投資その他の資産			
投資有価証券	10, 700, 723	10, 428, 971	
その他	277, 830	284, 309	
貸倒引当金	<u>△1, 925</u>	△1, 925	
投資その他の資産合計	10, 976, 628	10, 711, 356	
固定資産合計	23, 453, 021	22, 826, 954	
資産合計	69, 085, 185	69, 688, 934	
負債の部			
流動負債			
支払手形・工事未払金等	4, 006, 646	5, 040, 462	
未払法人税等	747, 791	545, 117	
未成工事受入金	176, 117	297, 085	
引当金	753, 334	739, 433	
その他	1, 496, 676	878, 332	
流動負債合計	7, 180, 565	7, 500, 430	
固定負債			
繰延税金負債	22, 845	27, 491	
退職給付引当金	1, 548, 638	1, 590, 530	
資産除去債務	98, 890	100, 944	
その他	450, 044	443, 207	
固定負債合計	2, 120, 419	2, 162, 174	
負債合計	9, 300, 985	9, 662, 604	
純資産の部		0,002,001	
株主資本			
資本金	3, 302, 375	3, 302, 375	
資本剰余金	3, 338, 425	3, 338, 425	
利益剰余金	50, 257, 555	50, 589, 232	
自己株式	$\triangle 293, 950$	△394, 084	
株主資本合計	56, 604, 405	56, 835, 948	
	00, 004, 405	00, 000, 948	
評価・換算差額等	0.170.704	0 100 001	
その他有価証券評価差額金	3, 179, 794	3, 190, 381	
評価・換算差額等合計	3, 179, 794	3, 190, 381	
純資産合計	59, 784, 199	60, 026, 329	
負債純資産合計	69, 085, 185	69, 688, 934	

# (2)四半期損益計算書 (第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間		
	(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		
売上高				
完成工事高	22, 547, 489	20, 269, 174		
不動産事業売上高	376, 541	376, 775		
売上高合計	22, 924, 031	20, 645, 949		
売上原価				
完成工事原価	18, 898, 193	17, 378, 174		
不動産事業売上原価	210, 237	228, 129		
売上原価合計	19, 108, 431	17, 606, 304		
売上総利益				
完成工事総利益	3, 649, 296	2, 890, 999		
不動産事業総利益	166, 303	148, 646		
売上総利益合計	3, 815, 600	3, 039, 645		
販売費及び一般管理費	1, 443, 480	1, 610, 399		
営業利益	2, 372, 119	1, 429, 246		
営業外収益				
受取利息	4, 829	4, 728		
受取配当金	99, 090	113, 209		
その他	21,921	11, 851		
営業外収益合計	125, 841	129, 789		
営業外費用				
投資有価証券評価損	_	35, 570		
営業外費用合計	_	35, 570		
経常利益	2, 497, 961	1, 523, 465		
特別利益				
固定資産売却益	6, 510	2, 272		
特別利益合計	6, 510	2, 272		
特別損失				
固定資産除却損	185	51		
特別損失合計	185	51		
税引前四半期純利益	2, 504, 287	1, 525, 685		
法人税等	804, 000	496, 000		
四半期純利益	1, 700, 287	1, 029, 685		

# (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

		(事位・1円)
	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2, 504, 287	1, 525, 685
減価償却費	735, 414	719, 512
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△790	△430
工事損失引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 750$	34, 040
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△110, 707	1, 77
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	$\triangle$ 19, 717	△23, 18
退職給付引当金の増減額(△は減少)	29, 271	41, 89
受取利息及び受取配当金	△103, 920	$\triangle 117, 93$
有形固定資産売却損益(△は益)	△6, 510	$\triangle 2, 27$
有形固定資産除却損	185	5
売上債権の増減額 (△は増加)	7, 752, 611	4, 241, 59
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△163, 938	$\triangle 221,47$
材料貯蔵品の増減額 (△は増加)	△613, 037	$\triangle 561, 43$
未収入金の増減額 (△は増加)	$\triangle 67,973$	50, 16
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15, 180	1, 033, 81
未成工事受入金の増減額(△は減少)	287, 579	120, 96
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△91, 402	180, 21
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△54, 011	△985, 85
未払消費税等の増減額(△は減少)	△87, 536	△699, 99
その他	62, 180	26, 45
小計	10, 036, 054	5, 363, 59
利息及び配当金の受取額	104, 780	119, 12
法人税等の支払額	$\triangle 1, 241, 794$	△693, 67
営業活動によるキャッシュ・フロー	8, 899, 040	4, 789, 04
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		, ,
有価証券の売却及び償還による収入	_	100, 00
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 201,560$	$\triangle 450, 64$
有形固定資産の売却による収入	16, 346	3, 85
無形固定資産の取得による支出	$\triangle 4,729$	△14, 35
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 249,673$	△1, 00
投資有価証券の売却及び償還による収入	6, 628	102, 10
その他	∆8, 913	△12, 21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△441, 902	△272, 26
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△617, 797	△693, 97
自己株式の取得による支出	△100, 063	△100, 13
リース債務の返済による支出	△163	$\triangle 1, 24$
財務活動によるキャッシュ・フロー	△718, 025	$\triangle$ 795, 35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7, 739, 112	3, 721, 42
現金及び現金同等物の期首残高 現金及び現金同等物の期首残高	20, 899, 223	
		24, 339, 798
現金及び現金同等物の四半期末残高	28, 638, 335	28, 061, 224

#### (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

#### (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実 効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

#### (重要な後発事象)

2019年10月の台風19号の影響により、長野県内の事務所及び線路メンテナンス工事用の大型保線機械等が被害を受けましたが、業績等に及ぼす影響については現在調査中であり、現時点において合理的に見積もることは困難であります。

## 3. 補足情報

## (1) 受注高、売上高及び繰越工事高

受注高

(単位:千円、%)

		前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	比較増減	増減率	前事業年度
	土木工事	15, 770, 083	15, 365, 454	△404, 628	△2.6	33, 965, 850
建設事業	建築工事	10, 275, 987	13, 029, 767	2, 753, 779	26.8	14, 854, 094
	計	26, 046, 071	28, 395, 221	2, 349, 150	9.0	48, 819, 944
不動産事業		376, 541	376, 775	233	0.1	771, 384
合計		26, 422, 613	28, 771, 997	2, 349, 384	8.9	49, 591, 329

② 売上高 (単位:千円、%)

		前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	比較増減	増減率	前事業年度
	土木工事	15, 482, 126	14, 847, 172	△634, 954	△4.1	35, 204, 693
建設事業	建築工事	7, 065, 362	5, 422, 002	△1, 643, 360	△23.3	13, 863, 637
	計	22, 547, 489	20, 269, 174	△2, 278, 315	△10.1	49, 068, 331
不動産事業		376, 541	376, 775	233	0.1	771, 384
合計		22, 924, 031	20, 645, 949	△2, 278, 081	△9.9	49, 839, 715

③ 繰越工事高 (単位:千円、%)

		前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	比較増減	増減率	前事業年度
建設事業	土木工事	8, 436, 279	7, 427, 762	△1, 008, 517	△12.0	6, 909, 479
	建築工事	9, 410, 627	14, 798, 224	5, 387, 597	57.3	7, 190, 459
	計	17, 846, 907	22, 225, 986	4, 379, 079	24.5	14, 099, 939
不動産事業		_	_	_	_	_
合計		17, 846, 907	22, 225, 986	4, 379, 079	24.5	14, 099, 939

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。